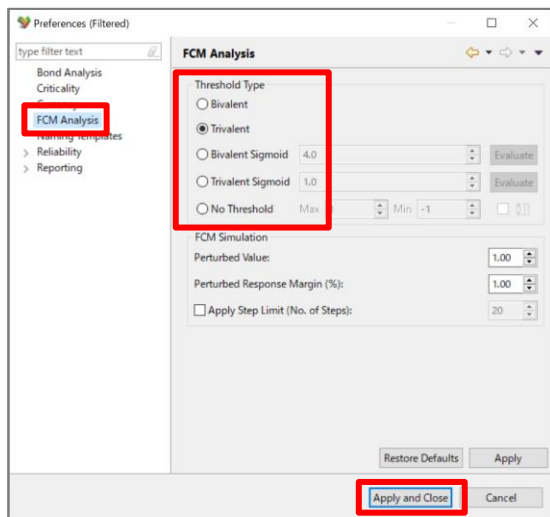
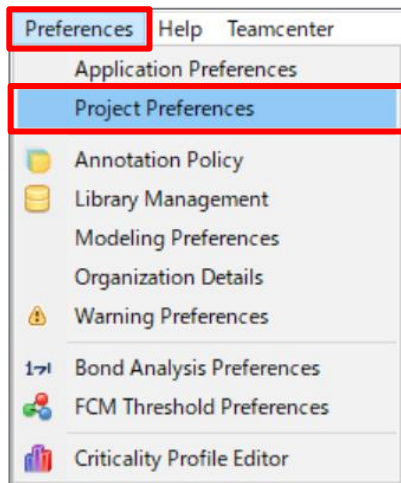


# <WF1-5-1-1> プリファレンスで故障伝播の閾値を設定する

以下の手順で、故障伝播の閾値を設定します。

➤ 閾値の詳細は、「<WF1-5-1> 操作ガイド」の「<WF1-5-1-1> 故障伝播の閾値について」を参照してください。

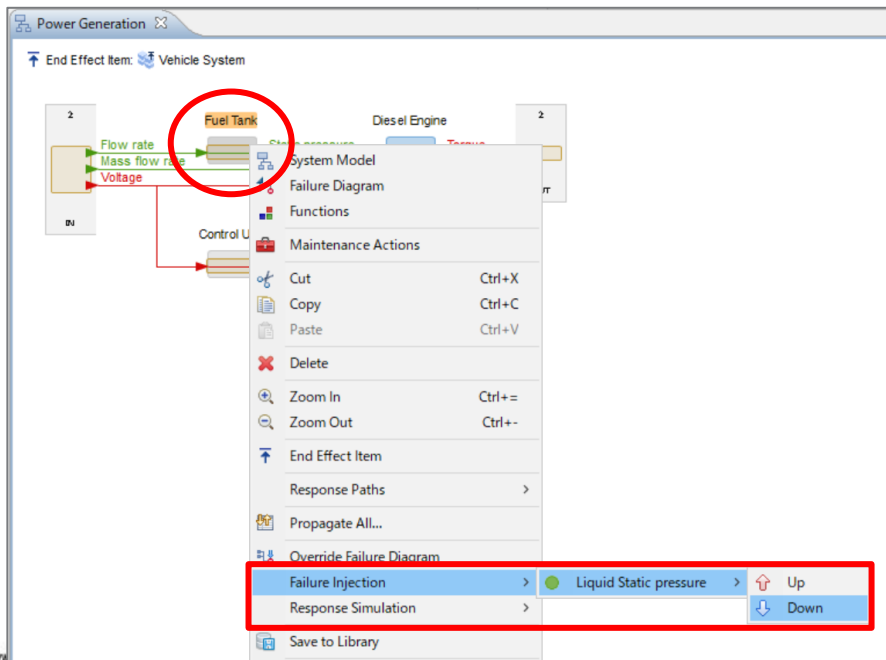
- ① 「Preferences」メニューの「Project Preferences」をクリックします。
- ② 「FCM Analysis」をクリックします。
- ③ 閾値を設定します。
- ③ 「Apply and Close」 ボタンをクリックして設定を登録します。



## <WF1-5-1-2> 部品に故障を注入する

以下の手順で、部品に故障を注入します。

- ①故障を発生させるアイテムを右クリックします。
- ②リストから「Failure Injection」→「（フロープロパティ名）」→「（故障状態）」をクリックします。



# <WF1-5-1-3> Step Tableで故障の伝播を確認する

Step Tableの以下のアイコンで、ステップごとの故障の伝播を確認します。

- 故障の伝播で不具合が確認された場合、「<WF1-5-1> 操作ガイド」の「<WF1-5-1-3> Step Tableでの故障の伝播の不具合について」を参照してください。

The screenshot shows a simulation environment for a Diesel Engine. The top part displays a schematic diagram with components like Air Filter, Engine, Coupling 1, Lift Pump, Governor, and Injector Pump. The bottom part shows a 'Step Table - Diesel Engine' with a grid of icons for each step (1-7). Two rows of icons are highlighted with red boxes: the first row has a green play button and a yellow play button; the second row has a green play button, a yellow play button, a green left arrow, a blue circular arrow, and a red square with a white play button.

アイコン	操作内容
	故障のステップを最後まで進めます
	故障のステップを1つ前に進めます
	故障のステップを1つ前に戻します
	故障のステップを最初のステップまで戻します
	注入した故障を削除します (新しいFailure Injectionを実行する際は はこのアイコンを押してから実行)

# <WF1-5-1-4> Response Simulationで故障の挙動を確認する

以下の手順で、ステップごとのアイテムの故障の挙動をグラフ形式で確認します。

➤ 故障の挙動で不具合が確認された場合、「<WF1-5-1> 操作ガイド」の「<WF1-5-1-4> Response Simulationでの故障の挙動の不具合について」を参照してください。

- ①故障の挙動を確認したいアイテム上で右クリックします。
- ②リストから「Response Simulation」→「FCM」→「(フロープロパティ名)」をクリックします。
- ③「FCM Response Simulation」ビューアに1ステップごとの故障の挙動がグラフ形式で表示されます。

